

学校コード F140310112006

注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分： 大学の設置

注1

認可

注2

令和健康科学大学 看護学部 看護学科

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

学校法人 巨樹の会
令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	シムカ 事務課
職名・氏名	シムチョウ ワタナベ コウジ 事務長 渡邊 孝司
電話番号	092-607-6701 (内線: 7335)
(夜間)	092-607-6701 (内線: 7335)
e-mail	somu@rhs-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称: ◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合: 「〇〇大学」
- 学部の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合: 「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合: 「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

看護学部

＜看護学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. 既設大学等の状況	16
5. 教員組織の状況	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	41
7. その他全般的事項	43

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人巨樹の会

(2) 大学名

令和健康科学大学 看護学部 看護学科

(3) 調査対象大学等の位置

〒811-0213

福岡県福岡市東区和白丘2丁目1番12号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(フジイ シゲル) 藤井 茂 (平成31年4月)	(カマチ マスミ) 蒲池 眞澄 (令和4年8月)	業務多忙のため変更 令和4年8月1日(5)
学長	(ニシムラ ヤスハル) 西村 泰治 (令和4年4月)	(テラサカ レイジ) 寺坂 禮治 (令和5年4月)	大学院設置業務に従事するため変更 令和5年4月1日(5)
学部長	(ノジ アリコ) 野地 有子 (令和4年4月)	(ミヤサト クニコ) 宮里 邦子 (令和4年9月)	一身上の都合により前任者退職のため変更 令和4年9月1日(5)
学科長等	(ミヤサト クニコ) 宮里 邦子 (令和4年4月)	(ツジ ケイコ) 辻 慶子 (令和4年9月)	前任者学部長就任のため変更 令和4年9月1日(5)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)
令和5年度に報告する内容 → (5)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
看護学部 看護学科 学士(看護学)	医学関係 保健衛生学関係(看護学関係)	4年	80人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	320人	-	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	80人 (-) [-]	—人 (-) [-]	80人 (-) [-]	(-) [-]	1.12倍	1.12倍	1.12倍	1.12倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	180 (-) [-]	(-) (-) [-]	303 (-) [-]	(-) (-) [-]					
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	171 (-) [-]	(-) (-) [-]	301 (-) [-]	(-) (-) [-]					
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	129 (-) [-]	(-) (-) [-]	122 (-) [-]	(-) (-) [-]					
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	98 (-) [-]	(-) (-) [-]	82 (-) [-]	(-) (-) [-]					
入学定員超過率 B/A									1.22		1.02						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
 ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
 ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	98 [—] (—)	— [—] (—)	82 [—] (—)	— [—] (—)	
2年次			— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	98 [—] (—)	— [—] (—)	
3年次					— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
4年次							— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
計	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	98 [—] (—)	— [—] (—)	180 [—] (—)	— [—] (—)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ **編入学生や転入学生も含めて**記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。**また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和4年度	98 人	0 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
			令和3年度	— 人	— 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
令和5年度	180 人	0 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
			令和3年度	— 人	— 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
令和5年度	0 人	0 人				
合 計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数 (a)}}{\text{平成30年度の在学者数 (b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数 (a)}}{\text{令和元年度の在学者数 (b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数 (a)}}{\text{令和2年度の在学者数 (b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数 (a)}}{\text{令和3年度の在学者数 (b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数 (a)}}{\text{令和4年度の在学者数 (b)}} = \frac{0}{98} = \boxed{0} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数 (a)}}{\text{令和5年度の在学者数 (b)}} = \frac{0}{180} = \boxed{0} \%$$

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<看護学部 看護学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基幹分野	フレッシュヤーズセミナー	1前	1			1						兼3
	教育学	1後	1									兼1
	心理学	1前	1									兼1
	発達心理学	1後		1								兼1
	ジェンダー論	1後		1								兼1
	法学	1前		1								兼1
	経営学	2前		1								兼1
	社会学	1後	1									兼1
	倫理学	1後	1									兼1
	人間関係論	1前	1									兼1
	コミュニケーション論	1前	1									兼1
	国際関係論	1後		1								兼1
	文化人類学	1後	1									兼1
	アジアの文学	1前		1								兼1
	福岡の歴史と文化	1前	1									兼2
	健康科学入門	1前	1			1						兼3
	医療と情報リテラシー	1前	1									兼1
	論理的思考法	1前	1									兼1
	統計学	1後	1									兼1
	生物学	1前		1								兼1
	物理学	1前		1								兼1
	英語 I (医療英語)	1前	1									兼1
	英語 II (医療文献読解)	1後	1									兼1
	韓国語 I (日常会話)	2前		1								兼2
	韓国語 II (医療会話)	2後		1								兼1
	中国語 I (日常会話)	2前		1								兼1
	中国語 II (医療会話)	2後		1								兼1
	スポーツ理論	1前	1									兼1
	スポーツ実践	1後		1								兼1
小計(29科目)		-	16	13	-	2	0	0	0	0	0	兼23
専門基礎分野	人体構造学	1前	2									兼1
	人体機能学	1後	2			1						
	栄養代謝学	1後	1									兼1
	病理学	1後	2									兼1
	健康障害と治療 I (消化器・神経・内分泌・泌尿器)	2前	1									兼1
	健康障害と治療 II (循環器・呼吸器・血液・膠原病)	2前	1									兼1
	健康障害と治療 III (外科・産科・救命救急)	2前	2									兼2
	健康障害と治療 IV (アレルギー・感覚器・歯・口腔)	2後	1									兼1
	健康障害と治療 V (小児)	2前	1									兼1
	健康障害と治療 VI (精神)	2前	1									兼1
	放射線医学	2後	1									兼1
	微生物学	1後	1									兼1
	感染症看護	2前		1								兼1
	食事療法学	2前		1								兼1
	薬理学	1後	2									兼1
	リハビリテーション概論	1後	1			1						
健康科学医療論	2前	1				2					兼2	
看護統計学	2前	1									兼1	
社会福祉学	3前		2								兼1	
保健医療福祉制度論	3前		2								兼1	

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基幹分野	フレッシュヤーズセミナー	1前	1			1						兼3
	教育学	1後	1									兼1
	心理学	1前	1									兼1
	発達心理学	1後		1								兼1
	ジェンダー論	1後		1								兼1
	法学	1前		1								兼1
	経営学	2前		1								兼1
	社会学	1後	1									兼1
	倫理学	1後	1									兼1
	人間関係論	1前	1									兼1
	コミュニケーション論	1前	1									兼1
	国際関係論	1後		1								兼1
	文化人類学	1後	1									兼1
	アジアの文学	1前		1								兼1
	福岡の歴史と文化	1前	1									兼2
	健康科学入門	1前	1				1					兼3
	医療と情報リテラシー	1前	1									兼1
	論理的思考法	1前	1									兼1
	統計学	1後	1									兼1
	生物学	1前		1								兼1
	物理学	1前		1								兼1
	英語 I (医療英語)	1前	1									兼1
	英語 II (医療文献読解)	1後	1									兼1
	韓国語 I (日常会話)	2前		1								兼2
	韓国語 II (医療会話)	2後		1								兼1
	中国語 I (日常会話)	2前		1								兼1
	中国語 II (医療会話)	2後		1								兼1
	スポーツ理論	1前	1									兼1
	スポーツ実践	1後		1								兼1
小計(29科目)		-	16	13	-	2	0	0	0	0	0	兼23
専門基礎分野	人体構造学	1前	2									兼1
	人体機能学	1後	2				1					
	栄養代謝学	1後	1									兼1
	病理学	1後	2									兼1
	健康障害と治療 I (消化器・神経・内分泌・泌尿器)	2前	1									兼1
	健康障害と治療 II (循環器・呼吸器・血液・膠原病)	2前	1									兼1
	健康障害と治療 III (外科・産科・救命救急)	2前	2									兼2
	健康障害と治療 IV (アレルギー・感覚器・歯・口腔)	2後	1									兼1
	健康障害と治療 V (小児)	2前	1									兼1
	健康障害と治療 VI (精神)	2前	1									兼1
	放射線医学	2後	1									兼1
	微生物学	1後	1									兼1
	感染症看護	2前		1								兼1
	食事療法学	2前		1								兼1
	薬理学	1後	2									兼1
	リハビリテーション概論	1後	1				1					
健康科学医療論	2前	1					2				兼2	
看護統計学	2前	1									兼1	
社会福祉学	3前		2								兼1	
保健医療福祉制度論	3前		2								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
	家族看護論	1後	1									兼1	
	公衆衛生学	3前	2									兼1	
	看護関係法規	2後	1									兼1	
	カウンセリング論	2前		1								兼1	
	専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎)	1後	1			2	2					兼5	
	専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築)	2前	1			3	3	2				兼10	
	専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重)	3前	1			6	4	7	1			兼18	
	専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)	4後	1			6	4	7	1			兼18	
	小計(28科目)	-	29	7	0	9	4	7	1	0		兼49	
専門分野	看護学概論	1前	2			1							
	看護倫理	2前	1			1							
	看護実践論	1後	1			1							
	看護過程	2前	1			1	1	2		1			
	生活援助技術	1前	2			1	1	2		1			
	ヘルスアセスメント	1後	1			1	1	2		1			
	診療に伴う援助技術	2前	2			1	1	2		1			
	看護研究	2後	1			1							
	生活援助実習	1後	1			1	1	2		6			
	基礎看護過程実習	2後	2			2	4	4	2	8			
	地域看護学概論	2前	2				1						
	地域看護学援助論	2後	1				1		1				
	地域看護学演習	3前	1				1		1				
	地域看護学実習	3後	1				1		1				
	在宅看護学概論	2前	1				1						
	在宅看護学援助論	2後	1				1			2			
	在宅看護学演習	3前	1				1			2			
	在宅看護学実習	3後	2				1			2			
	成人看護学概論	2前	1				1						
	成人看護学慢性期援助論	2後	1				1	2	1	1	3		
	成人看護学慢性期演習	3前	1				2	2	2	1	3		
	成人看護学急性期援助論	2後	1				1	2	1	1	3		
	成人看護学急性期演習	3前	1				2	2	2	1	3		
	終末期看護論	3前	1				1						
	成人看護学慢性期実習	3後	3				1	2	1	1	3		
	成人看護学急性期実習	4前	3				1	1	1	1	9		
	成人看護学終末期実習	4前	1				1	1			3		
	がん看護学	3前		1									兼1
	老年看護学概論	2前	1				1						
	老年看護学援助論	2後	1				1	1	1	1	1		
	老年看護学演習	3前	1				1		1	1	1		
	認知症看護論	3前	1				1						
	老年看護学実習	3後	1				1		1	1	1		
認知症老年看護学実習	3後	1						1	1	2			
小児看護学概論	2前	2				1							
小児看護学援助論	2後	1				1		1		2			
小児看護学演習	3前	1				1		1		2			
小児看護学実習	3後	2				1		1		2			
母性看護学概論	2前	2				1	1						
母性看護学援助論	2後	1				1	1			2			
母性看護学演習	3前	1				1	1			2			
母性看護学実習	4前	2				1	1			2			
精神看護学概論	2前	2				1		1					
精神看護学援助論	2後	1				1		2		1			
精神看護学演習	3前	1				1		2		1			
精神看護学実習	3後	2				1		2		1			
看護臨床推論	3前	1				1		1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
	家族看護論	1後	1									兼1	
	公衆衛生学	3前	2									兼1	
	看護関係法規	2後	1									兼1	
	カウンセリング論	2前		1								兼1	
	専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎)	1後	1				2	2				兼5	
	専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築)	2前	1				3	3	2			兼10	
	専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重)	3前	1				6	4	7	1		兼18	
	専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)	4後	1				6	4	7	1		兼18	
	小計(28科目)	-	29	7	0	9	4	7	1	0		兼49	
専門分野	看護学概論	1前	2			1							
	看護倫理	2前	1			1							
	看護実践論	1後	1			1							
	看護過程	2前	1			1	1	2		1			
	生活援助技術	1前	2			1	1	2		1			
	ヘルスアセスメント	1後	1			1	1	2		1			
	診療に伴う援助技術	2前	2			1	1	2		1			
	看護研究	2後	1				1						
	生活援助実習	1後	1				1	1	2		6		
	基礎看護過程実習	2後	2				2	4	4	2	8		
	地域看護学概論	2前	2					1					
	地域看護学援助論	2後	1					1		1			
	地域看護学演習	3前	1					1		1			
	地域看護学実習	3後	1					1		1			
	在宅看護学概論	2前	1					1					
	在宅看護学援助論	2後	1					1			2		
	在宅看護学演習	3前	1					1			2		
	在宅看護学実習	3後	2					1		1	2		
	成人看護学概論	2前	1					1					
	成人看護学慢性期援助論	2後	1					1	2	1	1	3	
	成人看護学慢性期演習	3前	1					2	2	2	1	3	
	成人看護学急性期援助論	2後	1					1	2	1	1	3	
	成人看護学急性期演習	3前	1					2	2	2	1	3	
	終末期看護論	3前	1						1				
	成人看護学慢性期実習	3後	3					1	2	1	1	3	
	成人看護学急性期実習	4前	3					1	1	1	1	9	
	成人看護学終末期実習	4前	1						1	1		3	
	がん看護学	3前		1									兼1
	老年看護学概論	2前	1					1					
	老年看護学援助論	2後	1					1	1	1	1	1	
	老年看護学演習	3前	1					1		1	1		
	認知症看護論	3前	1						1				
	老年看護学実習	3後	1						1		1	1	
認知症老年看護学実習	3後	1							1	1	2		
小児看護学概論	2前	2						1					
小児看護学援助論	2後	1						1		1	2		
小児看護学演習	3前	1						1		1	2		
小児看護学実習	3後	2						1		1	2		
母性看護学概論	2前	2						1	1				
母性看護学援助論	2後	1						1	1		2		
母性看護学演習	3前	1						1	1		2		
母性看護学実習	4前	2						1	1		2		
精神看護学概論	2前	2						1		1			
精神看護学援助論	2後	1						1		2	1		
精神看護学演習	3前	1						1		2	1		
精神看護学実習	3後	2						1		2	1		
看護臨床推論	3前	1						1		1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	リスクマネジメント論	3前	1								兼1
	看護管理学	3前	1			1					
	看護職のキャリア出発とキャリアデザイン	1前	1			1	1				
	看護職のキャリア発達とプロフェッショナリズム	3前	1			1					
	国際看護学	4後	1			1					
	災害看護	4後	1								兼1
	災害看護初期対応	4後		1		1		1			
	高度先進医療看護学	4後		1		1		1			
	統合演習	4後	1			4	5	5	1	1	
	統合実習	4前	2			1		5	3	6	
	卒業研究	4通	2			7	6	7	3		
	小計(58科目)	-	73	3	0	9	6	8	3	12	兼3
	合計(115科目)	-	118	23	0	9	6	8	3	12	兼70
卒業要件及び履修方法											
基幹分野から必修16単位を含む22単位以上、専門基礎分野から必修29単位を含む32単位以上、専門分野から必修73単位を含む74単位以上を修得し、128単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:49単位(年間)) なお、基幹分野の選択科目のうち「韓国語Ⅰ」及び「韓国語Ⅱ」または「中国語Ⅰ」及び「中国語Ⅱ」のいずれか2単位以上を選択必修とする。											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	リスクマネジメント論	3前	1								兼1
	看護管理学	3前	1			1					
	看護職のキャリア出発とキャリアデザイン	1前	1			1	1				
	看護職のキャリア発達とプロフェッショナリズム	3前	1			1					
	国際看護学	4後	1			1					
	災害看護	4後	1								兼1
	災害看護初期対応	4後		1		1		1			
	高度先進医療看護学	4後		1		1		1			
	統合演習	4後	1			4	5	5	1	1	
	統合実習	4前	2			1		5	3	6	
	卒業研究	4通	2			7	6	7	3		
	小計(58科目)	-	73	3	0	9	6	8	3	12	兼3
	合計(115科目)	-	118	23	0	9	6	8	3	12	兼70
卒業要件及び履修方法											
基幹分野から必修16単位を含む22単位以上、専門基礎分野から必修29単位を含む32単位以上、専門分野から必修73単位を含む74単位以上を修得し、128単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:49単位(年間)) なお、基幹分野の選択科目のうち「韓国語Ⅰ」及び「韓国語Ⅱ」または「中国語Ⅰ」及び「中国語Ⅱ」のいずれか2単位以上を選択必修とする。											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基 幹 分 野	フレッシュヤーズセミナー	1前	1			1						兼1
	教育学	1後	1									兼1
	心理学	1前	1									兼1
	発達心理学	1後		1								兼1
	ジェンダー論	1後		1								兼1
	法学	1前		1								兼1
	経営学	2前		1								兼1
	社会学	1後	1									兼1
	倫理学	1後	1									兼1
	人間関係論	1前	1									兼1
	コミュニケーション論	1前	1									兼1
	国際関係論	1後		1								兼1
	文化人類学	1後	1									兼1
	アジアの文学	1前		1								兼1
	福岡の歴史と文化	1前	1									兼2
	健康科学入門	1前	1			1						兼3
	医療と情報リテラシー	1前	1									兼1
	論理的思考法	1前	1									兼1
	統計学	1後	1									兼1
	生物学	1前		1								兼1
	物理学	1前		1								兼1
	英語Ⅰ(医療英語)	1前	1									兼1
	英語Ⅱ(医療文献読解)	1後	1									兼1
	韓国語Ⅰ(日常会話)	2前		1								兼2
	韓国語Ⅱ(医療会話)	2後		1								兼1
	中国語Ⅰ(日常会話)	2前		1								兼1
	中国語Ⅱ(医療会話)	2後		1								兼1
	スポーツ理論	1前	1									兼1
	スポーツ実践	1後		1								兼1
小計(29科目)		-	16	13	-	2	0	0	0	0		兼21
専 門 基 礎 分 野	人体構造学	1前	2									兼1
	人体機能学	1後	2			1						
	栄養代謝学	1後	1									兼1
	病理学	1後	2									兼1
	健康障害と治療Ⅰ(消化器・神経・内分泌・泌尿器)	2前	1									兼1
	健康障害と治療Ⅱ(循環器・呼吸器・血液・膠原病)	2前	1									兼1
	健康障害と治療Ⅲ(外科・麻酔・救命救急)	2前	2									兼2
	健康障害と治療Ⅳ(アレルギー・感覚器・歯・口腔)	2後	1									兼1
	健康障害と治療Ⅴ(小児)	2前	1									兼1
	健康障害と治療Ⅵ(精神)	2前	1									兼1
	放射線医学	2後	1									兼1
	微生物学	1後	1									兼1
	感染症看護	2前		1								兼1
	食事療法学	2前		1								兼1
	薬理学	1後	2									兼1
	リハビリテーション概論	1後	1			1						
	健康科学医療論	2前	1			2						兼2
	看護統計学	2前	1									兼1
	社会福祉学	3前		2								兼1
保健医療福祉制度論	3前		2								兼1	
家族看護論	1後	1									兼1	
公衆衛生学	3前	2									兼1	
看護関係法規	2後	1									兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	カウンセリング論	2前		1								兼1
	専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎)	1後	1			2	2					兼5
	専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築)	2前	1			3	3	2				兼10
	専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における専攻)	3前	1			6	4	7	1			兼18
	専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)	4後	1			6	4	7	1			兼18
	小計(28科目)	-	29	7	0	9	4	7	1	0		兼49
専門分野	看護学概論	1前	2			1						
	看護倫理	2前	1			1						
	看護実践論	1後	1			1						
	看護過程	2前	1			1	1	2		1		
	生活援助技術	1前	2			1	1	2		1		
	ヘルスアセスメント	1後	1			1	1	2		1		
	診療に伴う援助技術	2前	2			1	1	2		1		
	看護研究	2後	1			1						
	生活援助実習	1後	1			1	1	2			6	
	基礎看護過程実習	2後	2			2	4	4	2		8	
	地域看護学概論	2前	2				1					
	地域看護学援助論	2後	1				1			1		
	地域看護学演習	3前	1				1			1		
	地域看護学実習	3後	1				1			1		
	在宅看護学概論	2前	1				1					
	在宅看護学援助論	2後	1				1				2	
	在宅看護学演習	3前	1				1				2	
	在宅看護学実習	3後	2				1				2	
	成人看護学概論	2前	1			1						
	成人看護学慢性期援助論	2後	1			1	2	1	1	3		
	成人看護学慢性期演習	3前	1			2	2	2	1	3		
	成人看護学急性期援助論	2後	1			1	2	1	1	3		
	成人看護学急性期演習	3前	1			2	2	2	1	3		
	終末期看護論	3前	1				1					
	成人看護学慢性期実習	3後	3			1	2	1	1	3		
	成人看護学急性期実習	4前	3			1	1	1	1	9		
	成人看護学終末期実習	4前	1				1	1			3	
	がん看護学	3前		1								兼1
	老年看護学概論	2前	1			1						
	老年看護学援助論	2後	1			1	1	1	1	1		
	老年看護学演習	3前	1			1		1	1	1		
	認知症看護論	3前	1			1						
	老年看護学実習	3後	1			1		1	1	1		
	認知症老年看護学実習	3後	1					1	1	2		
	小児看護学概論	2前	2			1						
	小児看護学援助論	2後	1			1		1		2		
	小児看護学演習	3前	1			1		1		2		
	小児看護学実習	3後	2			1		1		2		
	母性看護学概論	2前	2			1	1					
	母性看護学援助論	2後	1			1	1			2		
母性看護学演習	3前	1			1	1			2			
母性看護学実習	4前	2			1	1			2			
精神看護学概論	2前	2			1		1					
精神看護学援助論	2後	1			1		2		1			
精神看護学演習	3前	1			1		2		1			
精神看護学実習	3後	2			1		2		1			
看護臨床推論	3前	1			1		1					
リスクマネジメント論	3前	1									兼1	
看護管理学	3前	1			1							
看護職のキャリア出発とキャリアデザイン	1前	1			1	1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	看護職のキャリア発達とプロフェッショナリズム	3前	1			1						兼1
	国際看護学	4後	1			1						
	災害看護	4後	1									
	災害看護初期対応	4後		1		1		1				
	高度先進医療看護学	4後		1		1		1				
	統合演習	4後	1			4	5	5	1	1		
	統合実習	4前	2			1		5	3	6		
	卒業研究	4通	2			7	6	7	3			
	小計(58科目)	-	73	3	0	9	6	8	3	12	兼3	
	合計(115科目)	-	118	23	0	9	6	8	3	12	兼68	
卒業要件及び履修方法												
基幹分野から必修16単位を含む22単位以上、専門基礎分野から必修29単位を含む32単位以上、専門分野から必修73単位を含む74単位以上を修得し、128単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:49単位(年間)) なお、基幹分野の選択科目のうち「韓国語Ⅰ」及び「韓国語Ⅱ」または「中国語Ⅰ」及び「中国語Ⅱ」のいずれか2単位以上を選択必修とする。												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

フレッシュヤーズセミナーについて、兼任教員辞退に伴い兼任3から兼1に変更。

【令和5年度】

フレッシュヤーズセミナーについて、兼任教員補充に伴い兼任1から兼3に変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
94 科目	21 科目	0 科目	115 科目	94 科目 [0]	21 科目 [0]	0 科目 [0]	115 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{115} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考	
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計		
	校舎敷地	11,007.03 m ²	— m ²	— m ²	11,007.03 m ²		
	運動場用地	653.38 m ²	— m ²	— m ²	653.38 m ²		
	小 計	11,660.41 m ²	— m ²	— m ²	11,660.41 m ²		
	そ の 他	0 m ²	— m ²	— m ²	0 m ²		
	合 計	11,660.41 m ²	— m ²	— m ²	11,660.41 m ²		
(2) 校舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体		
	19,580.89 m ² (19,580.89 m ²)	— m ² (— m ²)	— m ² (— m ²)	19,580.89 m ² (19,580.89 m ²)			
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体	
	37室	41室	3室	2室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		大学全体	
	看護学部						
	リハビリテーション学部			59 室			
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル			
	冊	種	[うち外国書]	点	点	点	
	大学全体	12,268 [205] (12,268 [205])	77 [14] (77 [14])	5,025 [2,672] (5,025 [2,672])	833 (833)	4,615 (4,615)	38 (35)
計	12,268 [205] (12,268 [205])	77 [14] (77 [14])	5,025 [2,672] (5,025 [2,672])	833 (833)	4,615 (4,615)	38 (35)	
(6) 図書館	面 積		閲 覧 座 席 数		取 納 可 能 冊 数		
	884.72 m ²		172 席		35,000 冊		
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
	1,330.18 m ²		—				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	26,485千円	4,938千円
	共 同 研 究 費 等	2,000千円	2,000千円	設備購入費	369,948千円	19,303千円	19,402千円
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
		1,600千円	1,500千円	1,500千円	1,450千円	— 千円	— 千円
	学生納付金以外の維持方法の概要						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	令和 健康科学大学										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	0	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	0	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考					
看護学部	年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度							
看護学科	4	80	0	160	学士(看護学)	1.02	1.02	1.12	1.12		令和4	福岡県福岡市東区和白2丁目1番12号						
リハビリテーション学部																		
理学療法学科	4	80	0	160	学士(作業療法学)	1.03	1.03	0.97	0.97		令和4	同上						
作業療法学科	4	60	0	120	学士(作業療法学)	0.95	0.95	0.71	0.71		令和4	同上						
大学全体	4	220	3年次0	740	-	-	-	-	-	-	-	-	-					

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 (様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<看護学部 看護学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和4年度】

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学 部 長)	野地 有子 (65) <令和4年4月> 保健学博士
		健康科学入門※ 健康科学医療論 看護管理学 看護職のキャリア発達とプロ フェッショナリズム 国際看護学
専	教授 (学 科 長)	宮里 邦子 (74) <令和4年4月> 博士(保健学)
		フレッシューズセミナー 健康科学医療論 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働) 小児看護学概論 小児看護学援助論※ 小児看護学演習 小児看護学実習 統合実習 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学 部 長)	野地 有子 (65) <令和4年4月> 保健学博士
		健康科学入門※ 健康科学医療論 看護管理学 看護職のキャリア発達とプロ フェッショナリズム 国際看護学
専	教授 (学 科 長)	宮里 邦子 (74) <令和4年4月> 博士(保健学)
		フレッシューズセミナー 健康科学医療論 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働) 小児看護学概論 小児看護学援助論※ 小児看護学演習 小児看護学実習 統合実習 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学 部 長)	宮里 邦子 (75) <令和4年4月> 博士(保健学)
		健康科学入門※
専	教授	竹元 仁美 (63) <令和4年4月> 修士(医療経営・管理学)
		健康科学医療論
		AC教員審査予定教員
		看護管理学 看護職のキャリア発達とプロ フェッショナリズム 国際看護学
専	教授 (学 部 長)	宮里 邦子 (75) <令和4年4月> 博士(保健学)
		フレッシューズセミナー 健康科学医療論 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携 における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携 における協働) 小児看護学概論 小児看護学援助論※ 小児看護学演習 小児看護学実習 統合実習 卒業研究

【認可時又は届出時】

【令和4年度】

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	辻 慶子 (66) ＜令和4年4月＞ 博士(理工学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 看護学概論 看護倫理 看護実践論 看護過程 生活援助技術 ヘルスアセスメント 診療に伴う援助技術 看護研究 生活援助実習 基礎看護過程実習 看護職のキャリア出発とキャリアデザイン 統合演習 卒業研究
		神島 滋子 (54) ＜令和4年4月＞ 博士(看護学)
		リハビリテーション概論 成人看護学概論 成人看護学慢性期援助論※ 成人看護学慢性期演習※ 成人看護学急性期援助論※ 成人看護学急性期演習※ 成人看護学慢性期実習 成人看護学急性期実習 統合演習 卒業研究
専	教授	勝野 とわ子 (70) ＜令和5年4月＞ Doctor of Philosophy in Nursing Science (米国)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 老年看護学概論 老年看護学援助論※ 老年看護学演習※ 認知症看護論 老年看護学実習 卒業研究
専	教授	竹元 仁美 (62) ＜令和4年4月＞ 修士(医療経営・管理学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 基礎看護過程実習 母性看護学概論※ 母性看護学援助論 母性看護学演習 母性看護学実習 統合演習 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	辻 慶子 (66) ＜令和4年4月＞ 博士(理工学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 看護学概論 看護倫理 看護実践論 看護過程 生活援助技術 ヘルスアセスメント 診療に伴う援助技術 看護研究 生活援助実習 基礎看護過程実習 看護職のキャリア出発とキャリアデザイン 統合演習 卒業研究
		神島 滋子 (54) ＜令和4年4月＞ 博士(看護学)
		リハビリテーション概論 成人看護学概論 成人看護学慢性期援助論※ 成人看護学慢性期演習※ 成人看護学急性期援助論※ 成人看護学急性期演習※ 成人看護学慢性期実習 成人看護学急性期実習 統合演習 卒業研究
専	教授	勝野 とわ子 (69) ＜令和5年4月＞ Doctor of Philosophy in Nursing Science (米国)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 老年看護学概論 老年看護学援助論※ 老年看護学演習※ 認知症看護論 老年看護学実習 卒業研究
専	教授	竹元 仁美 (62) ＜令和4年4月＞ 修士(医療経営・管理学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 基礎看護過程実習 母性看護学概論※ 母性看護学援助論 母性看護学演習 母性看護学実習 統合演習 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	辻 慶子 (67) ＜令和4年4月＞ 博士(理工学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 看護学概論 看護倫理 看護実践論 看護過程 生活援助技術 ヘルスアセスメント 診療に伴う援助技術 看護研究 生活援助実習 基礎看護過程実習 看護職のキャリア出発とキャリアデザイン 統合演習 卒業研究
		神島 滋子 (55) ＜令和4年4月＞ 博士(看護学)
		リハビリテーション概論 成人看護学概論 成人看護学慢性期援助論※ 成人看護学慢性期演習※ 成人看護学急性期援助論※ 成人看護学急性期演習※ 成人看護学慢性期実習 成人看護学急性期実習 統合演習 卒業研究
専	教授	勝野 とわ子 (70) ＜令和5年4月＞ Doctor of Philosophy in Nursing Science (米国)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 老年看護学概論 老年看護学援助論※ 老年看護学演習※ 認知症看護論 老年看護学実習 卒業研究
専	教授	竹元 仁美 (63) ＜令和4年4月＞ 修士(医療経営・管理学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 基礎看護過程実習 母性看護学概論※ 母性看護学援助論 母性看護学演習 母性看護学実習 統合演習 卒業研究

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	白石 裕子 (65) ＜令和5年4月＞ 博士(医学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 精神看護学概論※ 精神看護学援助論※ 精神看護学演習※ 精神看護学実習 卒業研究
兼任	講師	白石 裕子 (64) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎)
専	教授	田中 裕二 (65) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		人体機能学 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 卒業研究
専	教授	増山 純二 (49) ＜令和4年4月＞ 修士(学術)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 成人看護学慢性期演習※ 成人看護学急性期演習※ 看護臨床推論 災害看護初期対応 高度先進医療看護学 統合演習
専	准教授	児玉 裕美 (45) ＜令和4年4月＞ 博士(看護学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 看護過程 生活援助技術 ヘルスアセスメント 診療に伴う援助技術 生活援助実習 基礎看護過程実習 看護職のキャリア出発とキャリアデザイン 統合演習 卒業研究

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	白石 裕子 (64) ＜令和5年4月＞ 博士(医学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 精神看護学概論※ 精神看護学援助論※ 精神看護学演習※ 精神看護学実習 卒業研究
兼任	講師	白石 裕子 (64) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎)
専	教授	田中 裕二 (65) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		人体機能学 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 卒業研究
専	教授	増山 純二 (49) ＜令和4年4月＞ 修士(学術)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 成人看護学慢性期演習※ 成人看護学急性期演習※ 看護臨床推論 災害看護初期対応 高度先進医療看護学 統合演習
専	准教授	児玉 裕美 (45) ＜令和4年4月＞ 博士(看護学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 看護過程 生活援助技術 ヘルスアセスメント 診療に伴う援助技術 生活援助実習 基礎看護過程実習 看護職のキャリア出発とキャリアデザイン 統合演習 卒業研究

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	白石 裕子 (65) ＜令和5年4月＞ 博士(医学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 精神看護学概論※ 精神看護学援助論※ 精神看護学演習※ 精神看護学実習 卒業研究
兼任	講師	白石 裕子 (65) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎)
専	教授	田中 裕二 (66) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		人体機能学 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 卒業研究
専	教授	増山 純二 (50) ＜令和4年4月＞ 修士(学術)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 成人看護学慢性期演習※ 成人看護学急性期演習※ 看護臨床推論 災害看護初期対応 高度先進医療看護学 統合演習
専	准教授	児玉 裕美 (46) ＜令和4年4月＞ 博士(看護学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 看護過程 生活援助技術 ヘルスアセスメント 診療に伴う援助技術 生活援助実習 基礎看護過程実習 看護職のキャリア出発とキャリアデザイン 統合演習 卒業研究

【認可時又は届出時】

【令和4年度】

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	池田 敏子 (53) <令和4年4月> 修士(公衆衛生学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 地域看護学概論 地域看護学援助論※ 地域看護学演習※ 地域看護学実習 卒業研究
専	准教授	開田 ひとみ (66) <令和5年4月> 修士(アドミニストレーション)
		専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 在宅看護学概論 在宅看護学援助論 在宅看護学演習 在宅看護学実習 統合演習 卒業研究
専	准教授	川本 起久子 (61) <令和5年4月> 修士(アドミニストレーション)
		基礎看護過程実習 成人看護学慢性期援助論※ 成人看護学慢性期演習※ 成人看護学急性期援助論※ 成人看護学急性期演習※ 終末期看護論 成人看護学慢性期実習 成人看護学終末期実習 老年看護学援助論※ 統合演習 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	池田 敏子 (53) <令和4年4月> 修士(公衆衛生学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 地域看護学概論 地域看護学援助論※ 地域看護学演習※ 地域看護学実習 卒業研究
専	准教授	開田 ひとみ (66) <令和5年4月> 修士(アドミニストレーション)
		専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 在宅看護学概論 在宅看護学援助論 在宅看護学演習 在宅看護学実習 統合演習 卒業研究
専	准教授	川本 起久子 (61) <令和5年4月> 修士(アドミニストレーション)
		基礎看護過程実習 成人看護学慢性期援助論※ 成人看護学慢性期演習※ 成人看護学急性期援助論※ 成人看護学急性期演習※ 終末期看護論 成人看護学慢性期実習 成人看護学終末期実習 老年看護学援助論※ 統合演習 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	池田 敏子 (54) <令和4年4月> 修士(公衆衛生学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 地域看護学概論 地域看護学援助論※ 地域看護学演習※ 地域看護学実習 卒業研究
専	教授	馬場 みちえ (63) <令和5年4月> 博士(医学)
		専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 在宅看護学概論 在宅看護学援助論 在宅看護学演習 在宅看護学実習 統合演習 卒業研究
専	准教授	川本 起久子 (61) <令和5年4月> 修士(アドミニストレーション)
		基礎看護過程実習 成人看護学慢性期援助論※ 成人看護学慢性期演習※ 成人看護学急性期援助論※ 成人看護学急性期演習※ 終末期看護論 成人看護学慢性期実習 成人看護学終末期実習 老年看護学援助論※ 統合演習 卒業研究

【認可時又は届出時】

【令和4年度】

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	梅木 彰子 (59) <令和5年4月> 修士(人間科学)
		基礎看護過程実習 成人看護学慢性期援助論※ 成人看護学慢性期演習※ 成人看護学急性期援助論※ 成人看護学急性期演習※ 成人看護学慢性期実習 成人看護学急性期実習 統合演習 卒業研究
専	准教授	寺岡 祥子 (62) <令和4年4月> 博士(学術)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 基礎看護過程実習 母性看護学概論※ 母性看護学援助論 母性看護学演習 母性看護学実習 統合演習 卒業研究
専	講師	齋藤 嘉宏 (42) <令和5年4月> 修士(看護学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 精神看護学概論※ 精神看護学援助論※ 精神看護学演習※ 精神看護学実習 統合実習 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	梅木 彰子 (58) <令和5年4月> 修士(人間科学)
		基礎看護過程実習 成人看護学慢性期援助論※ 成人看護学慢性期演習※ 成人看護学急性期援助論※ 成人看護学急性期演習※ 成人看護学慢性期実習 成人看護学急性期実習 統合演習 卒業研究
専	准教授	寺岡 祥子 (62) <令和4年4月> 博士(学術)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 基礎看護過程実習 母性看護学概論※ 母性看護学援助論 母性看護学演習 母性看護学実習 統合演習 卒業研究
専	講師	齋藤 嘉宏 (41) <令和5年4月> 修士(看護学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 精神看護学概論※ 精神看護学援助論※ 精神看護学演習※ 精神看護学実習 統合実習 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		AC教員審査予定教員
		基礎看護過程実習 成人看護学慢性期援助論※ 成人看護学慢性期演習※ 成人看護学急性期援助論※ 成人看護学急性期演習※ 終末期看護論 成人看護学慢性期実習 成人看護学終末期実習 老年看護学援助論※ 統合演習 卒業研究
専	准教授	梅木 彰子 (59) <令和5年4月> 修士(人間科学)
		基礎看護過程実習 成人看護学慢性期援助論※ 成人看護学慢性期演習※ 成人看護学急性期援助論※ 成人看護学急性期演習※ 成人看護学慢性期実習 成人看護学急性期実習 統合演習 卒業研究
専	准教授	寺岡 祥子 (63) <令和4年4月> 博士(学術)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 基礎看護過程実習 母性看護学概論※ 母性看護学援助論 母性看護学演習 母性看護学実習 統合演習 卒業研究
専	講師	齋藤 嘉宏 (42) <令和5年4月> 修士(看護学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 精神看護学概論※ 精神看護学援助論※ 精神看護学演習※ 精神看護学実習 統合実習 卒業研究

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	苑田 裕樹 (46) ＜令和4年4月＞ 修士(教授システム学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 成人看護学慢性期演習※ 成人看護学急性期演習※ 看護臨床推論 災害看護初期対応 高度先進医療看護学 統合演習
専	講師	松井 聡子 (42) ＜令和4年4月＞ 修士(看護学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 看護過程 生活援助技術 ヘルスアセスメント 診療に伴う援助技術 生活援助実習 基礎看護過程実習 統合演習 統合実習 卒業研究
専	講師	大村 由紀美 (47) ＜令和4年4月＞ 修士(看護学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 看護過程 生活援助技術 ヘルスアセスメント 診療に伴う援助技術 生活援助実習 基礎看護過程実習 統合演習 統合実習 卒業研究
専	講師	島村 美香 (50) ＜令和5年4月＞ 修士(学術)
		基礎看護過程実習 成人看護学慢性期援助論※ 成人看護学慢性期演習※ 成人看護学急性期援助論※ 成人看護学急性期演習※ 成人看護学慢性期実習 成人看護学急性期実習 成人看護学終末期実習 統合演習 卒業研究

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	苑田 裕樹 (46) ＜令和4年4月＞ 修士(教授システム学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 成人看護学慢性期演習※ 成人看護学急性期演習※ 看護臨床推論 災害看護初期対応 高度先進医療看護学 統合演習
専	講師	松井 聡子 (42) ＜令和4年4月＞ 修士(看護学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 看護過程 生活援助技術 ヘルスアセスメント 診療に伴う援助技術 生活援助実習 基礎看護過程実習 統合演習 統合実習 卒業研究
専	講師	大村 由紀美 (47) ＜令和4年4月＞ 修士(看護学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 看護過程 生活援助技術 ヘルスアセスメント 診療に伴う援助技術 生活援助実習 基礎看護過程実習 統合演習 統合実習 卒業研究
専	講師	島村 美香 (49) ＜令和5年4月＞ 修士(学術)
		基礎看護過程実習 成人看護学慢性期援助論※ 成人看護学慢性期演習※ 成人看護学急性期援助論※ 成人看護学急性期演習※ 成人看護学慢性期実習 成人看護学急性期実習 成人看護学終末期実習 統合演習 卒業研究

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	苑田 裕樹 (47) ＜令和4年4月＞ 修士(教授システム学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 成人看護学慢性期演習※ 成人看護学急性期演習※ 看護臨床推論 災害看護初期対応 高度先進医療看護学 統合演習
専	講師	松井 聡子 (43) ＜令和4年4月＞ 修士(看護学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 看護過程 生活援助技術 ヘルスアセスメント 診療に伴う援助技術 生活援助実習 基礎看護過程実習 統合演習 統合実習 卒業研究
専	講師	大村 由紀美 (48) ＜令和4年4月＞ 修士(看護学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 看護過程 生活援助技術 ヘルスアセスメント 診療に伴う援助技術 生活援助実習 基礎看護過程実習 統合演習 統合実習 卒業研究
専	講師	島村 美香 (50) ＜令和5年4月＞ 修士(学術)
		基礎看護過程実習 成人看護学慢性期援助論※ 成人看護学慢性期演習※ 成人看護学急性期援助論※ 成人看護学急性期演習※ 成人看護学慢性期実習 成人看護学急性期実習 成人看護学終末期実習 統合演習 卒業研究

【認可時又は届出時】

【令和4年度】

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	岩倉 真由美 (51) ＜令和4年4月＞ 修士(医療経営管理学)
		専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 老年看護学援助論※ 老年看護学演習※ 老年看護学実習 認知症老年看護学実習 卒業研究
専	講師	松本 宗賢 (38) ＜令和4年4月＞ 修士(看護学)
		専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 基礎看護過程実習 小児看護学援助論※ 小児看護学演習 小児看護学実習 統合演習 統合実習 卒業研究
専	講師	中本 亮 (47) ＜令和5年4月＞ 修士(看護学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 精神看護学援助論※ 精神看護学演習※ 精神看護学実習 統合実習 卒業研究
専	助教	猪狩 明日香 (46) ＜令和4年4月＞ 修士(看護学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 地域看護学援助論※ 地域看護学演習※ 地域看護学実習 統合実習 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	岩倉 真由美 (51) ＜令和4年4月＞ 修士(医療経営管理学)
		専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 老年看護学援助論※ 老年看護学演習※ 老年看護学実習 認知症老年看護学実習 卒業研究
専	講師	松本 宗賢 (38) ＜令和4年4月＞ 修士(看護学)
		専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 基礎看護過程実習 小児看護学援助論※ 小児看護学演習 小児看護学実習 統合演習 統合実習 卒業研究
専	講師	中本 亮 (46) ＜令和5年4月＞ 修士(看護学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 精神看護学援助論※ 精神看護学演習※ 精神看護学実習 統合実習 卒業研究
専	助教	猪狩 明日香 (46) ＜令和4年4月＞ 修士(看護学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 地域看護学援助論※ 地域看護学演習※ 地域看護学実習 統合実習 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	岩倉 真由美 (52) ＜令和4年4月＞ 修士(医療経営管理学)
		専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 老年看護学援助論※ 老年看護学演習※ 老年看護学実習 認知症老年看護学実習 卒業研究
専	講師	松本 宗賢 (39) ＜令和4年4月＞ 修士(看護学)
		専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 基礎看護過程実習 小児看護学援助論※ 小児看護学演習 小児看護学実習 統合演習 統合実習 卒業研究
専	講師	中本 亮 (47) ＜令和5年4月＞ 修士(看護学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 精神看護学援助論※ 精神看護学演習※ 精神看護学実習 統合実習 卒業研究
専	助教	猪狩 明日香 (47) ＜令和4年4月＞ 修士(看護学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働) 地域看護学援助論※ 地域看護学演習※ 地域看護学実習 統合実習 卒業研究

【認可時又は届出時】

【令和4年度】

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	別城 佐和子 (42) ＜令和5年4月＞ 修士(看護学)
		基礎看護過程実習 成人看護学慢性期援助論※ 成人看護学慢性期演習※ 成人看護学急性期援助論※ 成人看護学急性期演習※ 成人看護学慢性期実習 成人看護学急性期実習 統合演習 統合実習 卒業研究
専	助教	喜多 麻衣子 (38) ＜令和5年4月＞ 修士(看護学)
		基礎看護過程実習 老年看護学援助論※ 老年看護学演習※ 老年看護学実習 認知症老年看護学実習 統合実習 卒業研究
兼任	教授	西村 泰治 (70) ＜令和4年4月＞ 医学博士
		フレッシュアーズセミナー 健康科学入門※ 健康科学医療論
兼任	教授	富永 隆治 (72) ＜令和4年4月＞ 医学博士
		健康科学医療論
兼任	教授	郡山 一明 (63) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		健康障害と治療Ⅲ(外科・麻酔・救命救急)※
兼任	教授	松原 孝俊 (71) ＜令和4年4月＞ 文学修士
		アジアの文学 福岡の歴史と文化※ 韓国語Ⅰ(日常会話) 韓国語Ⅱ(医療会話)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	別城 佐和子 (41) ＜令和5年4月＞ 修士(看護学)
		基礎看護過程実習 成人看護学慢性期援助論※ 成人看護学慢性期演習※ 成人看護学急性期援助論※ 成人看護学急性期演習※ 成人看護学慢性期実習 成人看護学急性期実習 統合演習 統合実習 卒業研究
専	助教	喜多 麻衣子 (37) ＜令和5年4月＞ 修士(看護学)
		基礎看護過程実習 老年看護学援助論※ 老年看護学演習※ 老年看護学実習 認知症老年看護学実習 統合実習 卒業研究
兼任	教授	西村 泰治 (70) ＜令和4年4月＞ 医学博士
		フレッシュアーズセミナー 健康科学入門※ 健康科学医療論
兼任	教授	富永 隆治 (72) ＜令和4年4月＞ 医学博士
		健康科学医療論
兼任	教授	未定
		健康障害と治療Ⅲ(外科・麻酔・救命救急)※
兼任	教授	松原 孝俊 (71) ＜令和4年4月＞ 文学修士
		アジアの文学 福岡の歴史と文化※ 韓国語Ⅰ(日常会話) 韓国語Ⅱ(医療会話)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	別城 佐和子 (42) ＜令和5年4月＞ 修士(看護学)
		基礎看護過程実習 成人看護学慢性期援助論※ 成人看護学慢性期演習※ 成人看護学急性期援助論※ 成人看護学急性期演習※ 成人看護学慢性期実習 成人看護学急性期実習 統合演習 統合実習 卒業研究
専	助教	喜多 麻衣子 (38) ＜令和5年4月＞ 修士(看護学)
		基礎看護過程実習 老年看護学援助論※ 老年看護学演習※ 老年看護学実習 認知症老年看護学実習 統合実習 卒業研究
兼任	教授	西村 泰治 (71) ＜令和4年4月＞ 医学博士
		フレッシュアーズセミナー 健康科学入門※ 健康科学医療論
兼任	教授	富永 隆治 (73) ＜令和4年4月＞ 医学博士
		健康科学医療論
兼任	教授	富永 隆治 (73) ＜令和4年4月＞ 医学博士
		健康障害と治療Ⅲ(外科・麻酔・救命救急)※
兼任	教授	未定
		健康障害と治療Ⅲ(外科・麻酔・救命救急)※

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	弓岡 光徳 (68) ＜令和4年4月＞ 博士(社会福祉学) フレッシュャーズセミナー 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	教授	溝田 勝彦 (70) ＜令和4年4月＞ 修士(経営学) 健康科学入門※ 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築)
兼任	教授	永崎 孝之 (59) ＜令和4年4月＞ 博士(工学) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築)
兼任	教授	古後 晴基 (56) ＜令和4年4月＞ 博士(医学) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築)

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授(学長)	西村 泰治 (70) ＜令和4年4月＞ 医学博士 フレッシュャーズセミナー
		AC教員審査予定教員 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	教授	溝田 勝彦 (70) ＜令和4年4月＞ 修士(経営学) 健康科学入門※ 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築)
兼任	教授	永崎 孝之 (59) ＜令和4年4月＞ 博士(工学) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築)
兼任	教授	古後 晴基 (56) ＜令和4年4月＞ 博士(医学) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築)

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		AC教員審査予定教員 アジアの文学 福岡の歴史と文化※ 韓国語Ⅰ(日常会話) 韓国語Ⅱ(医療会話)
兼任	教授(学科長)	永崎 孝之 (60) ＜令和4年4月＞ 博士(工学) フレッシュャーズセミナー
兼任	教授	森下 元賀 (45) ＜令和5年4月＞ 博士(保健科学) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	教授	溝田 勝彦 (71) ＜令和4年4月＞ 修士(経営学) 健康科学入門※ 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築)
兼任	教授	永崎 孝之 (60) ＜令和4年4月＞ 博士(工学) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築)
兼任	教授	古後 晴基 (57) ＜令和4年4月＞ 博士(医学) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築)

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	玉利 誠 (46) ＜令和4年4月＞ 博士(保健医療学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎)
兼任	准教授	田中 真一 (50) ＜令和4年4月＞ 修士(医科学)
		専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築)
兼任	准教授	阿波 邦彦 (41) ＜令和5年4月＞ 博士(保健学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築)
兼任	講師	阿波 邦彦 (40) ＜令和4年4月＞ 博士(保健学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎)
兼任	教授	近藤 敏 (72) ＜令和4年4月＞ 博士(保健学)
		フレッシュャーズセミナー 健康科学入門※ 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	玉利 誠 (46) ＜令和4年4月＞ 博士(保健医療学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎)
兼任	准教授	田中 真一 (50) ＜令和4年4月＞ 修士(医科学)
		専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築)
兼任	准教授	阿波 邦彦 (40) ＜令和5年4月＞ 博士(保健学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築)
		AC教員審査教員
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎)
		AC教員審査教員
		専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の基礎)
兼任	教授	近藤 敏 (72) ＜令和4年4月＞ 博士(保健学)
		フレッシュャーズセミナー 健康科学入門※ 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	玉利 誠 (47) ＜令和4年4月＞ 博士(保健医療学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎)
兼任	准教授	田中 真一 (51) ＜令和4年4月＞ 修士(医科学)
		専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築)
兼任	助教	大田 瑞穂 (40) ＜令和4年9月＞ 修士(保健医療学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎)
		AC教員審査教員
		専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の基礎)
兼任	助教	大田 瑞穂 (40) ＜令和4年9月＞ 修士(保健医療学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎)
兼任	教授	近藤 敏 (73) ＜令和4年4月＞ 博士(保健学)
		フレッシュャーズセミナー 健康科学入門※ 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	中山 広宣 (71) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	教授	田中 悟郎 (65) ＜令和6年4月＞ 博士(医学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	教授	小西 紀一 (74) ＜令和4年4月＞ Master of Science(米国)
		専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	准教授	谷川 良博 (53) ＜令和4年4月＞ 修士(人間関係学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	教授	山根 伸吾 (48) ＜令和5年4月＞ 博士(保健学)
		専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	准教授	小西 裕之 (58) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		スポーツ理論 スポーツ実践
兼任	准教授	八谷 瑞紀 (46) ＜令和5年4月＞ 博士(医学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	中山 広宣 (71) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	教授	田中 悟郎 (63) ＜令和6年4月＞ 博士(医学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	教授	小西 紀一 (74) ＜令和4年4月＞ Master of Science(米国)
		専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	准教授	谷川 良博 (53) ＜令和4年4月＞ 修士(人間関係学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	教授	山根 伸吾 (47) ＜令和5年4月＞ 博士(保健学)
		専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	准教授	小西 裕之 (58) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		スポーツ理論 スポーツ実践
兼任	准教授	八谷 瑞紀 (45) ＜令和5年4月＞ 博士(医学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	中山 広宣 (72) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	教授	田中 悟郎 (64) ＜令和6年4月＞ 博士(医学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	教授	小西 紀一 (75) ＜令和4年4月＞ Master of Science(米国)
		専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	准教授	谷川 良博 (54) ＜令和4年4月＞ 修士(人間関係学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	教授	山根 伸吾 (48) ＜令和5年4月＞ 博士(保健学)
		専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	准教授	小西 裕之 (59) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		スポーツ理論 スポーツ実践
兼任	准教授	

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	齊藤 貴文 (42) ＜令和4年4月＞ 博士(人間環境学) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	講師	吉澤 隆志 (51) ＜令和4年4月＞ 博士(保健医療学) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	講師	岡 真一郎 (45) ＜令和4年4月＞ 博士(保健医療学) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	講師	北村 匡大 (41) ＜令和4年4月＞ 博士(保健学) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	講師	近藤 昭彦 (44) ＜令和4年4月＞ 博士(医学) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	助教	角田 孝行 (44) ＜令和4年4月＞ 修士(保健福祉学) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重)

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	齊藤 貴文 (42) ＜令和4年4月＞ 博士(人間環境学) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	講師	吉澤 隆志 (51) ＜令和4年4月＞ 博士(保健医療学) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	講師	岡 真一郎 (45) ＜令和4年4月＞ 博士(保健医療学) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	講師	北村 匡大 (41) ＜令和4年4月＞ 博士(保健学) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	講師	近藤 昭彦 (44) ＜令和4年4月＞ 博士(医学) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	助教	角田 孝行 (44) ＜令和4年4月＞ 修士(保健福祉学) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重)

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	澤田 誠 (37) ＜令和5年4月＞ 博士(医学) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	講師	齊藤 貴文 (43) ＜令和4年4月＞ 博士(人間環境学) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	講師	吉澤 隆志 (52) ＜令和4年4月＞ 博士(保健医療学) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	講師	岡 真一郎 (46) ＜令和4年4月＞ 博士(保健医療学) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	講師	北村 匡大 (42) ＜令和4年4月＞ 博士(保健学) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	講師	近藤 昭彦 (45) ＜令和4年4月＞ 博士(医学) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	助教	角田 孝行 (45) ＜令和4年4月＞ 修士(保健福祉学) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重)

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	江口 喜久雄 (39) ＜令和4年4月＞ 修士(保健科学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	助教	松本 典久 (58) ＜令和5年4月＞ 修士(健康福祉学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	講師	松本 典久 (57) ＜令和4年4月＞ 博士(保健学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎)
兼任	助教	岡本 伸弘 (45) ＜令和6年4月＞ 修士(理学療法学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	助教	原田 伸哉 (40) ＜令和5年4月＞ 修士(医科学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	助教	坪内 優太 (33) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	助教	太田 研吾 (44) ＜令和4年4月＞ 修士(心理学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重)

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	江口 喜久雄 (39) ＜令和4年4月＞ 修士(保健科学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	助教	松本 典久 (57) ＜令和5年4月＞ 修士(健康福祉学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	講師	松本 典久 (57) ＜令和4年4月＞ 博士(保健学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎)
兼任	助教	岡本 伸弘 (43) ＜令和6年4月＞ 修士(理学療法学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	助教	原田 伸哉 (39) ＜令和5年4月＞ 修士(医科学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	助教	坪内 優太 (33) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	助教	太田 研吾 (44) ＜令和4年4月＞ 修士(心理学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重)

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	江口 喜久雄 (40) ＜令和4年4月＞ 修士(保健科学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎) 専門職連携教育Ⅱ(専門職連携の構築) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	助教	松本 典久 (58) ＜令和5年4月＞ 修士(健康福祉学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎) 専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	講師	松本 典久 (58) ＜令和4年4月＞ 博士(保健学)
		専門職連携教育Ⅰ(専門職連携の基礎)
兼任	助教	岡本 伸弘 (44) ＜令和6年4月＞ 修士(理学療法学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	助教	原田 伸哉 (40) ＜令和5年4月＞ 修士(医科学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	助教	坪内 優太 (34) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重) 専門職連携教育Ⅳ(専門職連携における協働)
兼任	助教	太田 研吾 (45) ＜令和4年4月＞ 修士(心理学)
		専門職連携教育Ⅲ(専門職連携における尊重)

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	佐喜本 愛 (46) ＜令和4年4月＞ 博士(教育学)
		教育学
兼任	講師	山口 雄介 (35) ＜令和4年4月＞ 修士(臨床心理)
		心理学 発達心理学 カウンセリング論
兼任	講師	宮崎 聖子 (57) ＜令和4年4月＞ 博士(人文科学)
		ジェンダー論 文化人類学
兼任	講師	岡 克彦 (61) ＜令和4年4月＞ 博士(法学)
		法学
兼任	講師	加藤 佳奈 (36) ＜令和5年4月＞ 修士(経営学)
		経営学
兼任	講師	山下 亜希子 (50) ＜令和4年4月＞ 博士(農学)
		社会学

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	佐喜本 愛 (46) ＜令和4年4月＞ 博士(教育学)
		教育学
兼任	講師	山口 雄介 (35) ＜令和4年4月＞ 修士(臨床心理)
		心理学 発達心理学 カウンセリング論
兼任	講師	宮崎 聖子 (57) ＜令和4年4月＞ 博士(人文科学)
		ジェンダー論 文化人類学
兼任	講師	岡 克彦 (61) ＜令和4年4月＞ 博士(法学)
		法学
兼任	講師	加藤 佳奈 (35) ＜令和5年4月＞ 修士(経営学)
		経営学
兼任	講師	山下 亜希子 (50) ＜令和4年4月＞ 博士(農学)
		社会学

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	木村 菜太 (31) ＜令和5年4月＞ 修士(人間環境学)
		教育学
兼任	講師	山口 雄介 (36) ＜令和4年4月＞ 修士(臨床心理)
		心理学 発達心理学 カウンセリング論
兼任	講師	宮崎 聖子 (58) ＜令和4年4月＞ 博士(人文科学)
		ジェンダー論 文化人類学
兼任	講師	鎌田 厚志 (46) ＜令和5年4月＞ 修士(法学)
		法学
兼任	講師	加藤 佳奈 (36) ＜令和5年4月＞ 修士(経営学)
		経営学
兼任	講師	山下 亜希子 (51) ＜令和4年4月＞ 博士(農学)
		社会学

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	倉田 剛 (51) ＜令和4年4月＞ 修士(哲学)※
		倫理学 論理的思考法
兼任	講師	吉原 克枝 (54) ＜令和4年4月＞ 修士(人間環境学)
		人間関係論 コミュニケーション論
兼任	講師	山根 健至 (44) ＜令和4年4月＞ 博士(国際関係学)
		国際関係論
兼任	講師	宮井 善朗 (59) ＜令和4年4月＞ 文学修士
		福岡の歴史と文化※
兼任	講師	藤村 直美 (71) ＜令和4年4月＞ 工学博士
		医療と情報リテラシー
兼任	講師	山下 貴範 (42) ＜令和4年4月＞ 博士(情報科学)
		統計学

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	倉田 剛 (51) ＜令和4年4月＞ 修士(哲学)※
		倫理学 論理的思考法
兼任	講師	吉原 克枝 (54) ＜令和4年4月＞ 修士(人間環境学)
		人間関係論 コミュニケーション論
兼任	講師	山根 健至 (44) ＜令和4年4月＞ 博士(国際関係学)
		国際関係論
兼任	講師	宮井 善朗 (59) ＜令和4年4月＞ 文学修士
		福岡の歴史と文化※
兼任	講師	藤村 直美 (71) ＜令和4年4月＞ 工学博士
		医療と情報リテラシー
兼任	講師	山下 貴範 (42) ＜令和4年4月＞ 博士(情報科学)
		統計学

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	国越 道貴 (62) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		倫理学 論理的思考法
兼任	講師	松尾 和代 (36) ＜令和5年4月＞ 修士(心理学)
		人間関係論 コミュニケーション論
兼任	講師	山根 健至 (45) ＜令和4年4月＞ 博士(国際関係学)
		国際関係論
兼任	講師	宮井 善朗 (60) ＜令和4年4月＞ 文学修士
		福岡の歴史と文化※
兼任	講師	藤村 直美 (72) ＜令和4年4月＞ 工学博士
		医療と情報リテラシー
兼任	講師	山下 貴範 (43) ＜令和4年4月＞ 博士(情報科学)
		統計学

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	照屋 輝一郎 (54) ＜令和4年4月＞ 博士(農学)
		生物学
兼任	講師	黒木 昌一 (61) ＜令和4年4月＞ 物理学博士
		物理学
兼任	講師	Greggory John Wroblewski (46) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		英語Ⅰ(医療英語) 英語Ⅱ(医療文献読解)
兼任	講師	李 延恩 (56) ＜令和5年4月＞ 修士(比較社会文化学)※
		韓国語Ⅰ(日常会話) 韓国語Ⅱ(医療会話)
兼任	講師	石川 泰成 (60) ＜令和5年4月＞ 文学修士
		中国語Ⅰ(日常会話) 中国語Ⅱ(医療会話)

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	照屋 輝一郎 (54) ＜令和4年4月＞ 博士(農学)
		生物学
兼任	講師	黒木 昌一 (61) ＜令和4年4月＞ 物理学博士
		物理学
兼任	講師	Greggory John Wroblewski (46) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		英語Ⅰ(医療英語) 英語Ⅱ(医療文献読解)
兼任	講師	李 延恩 (55) ＜令和5年4月＞ 修士(比較社会文化学)※
		韓国語Ⅰ(日常会話) 韓国語Ⅱ(医療会話)
兼任	講師	石川 泰成 (59) ＜令和5年4月＞ 文学修士
		中国語Ⅰ(日常会話) 中国語Ⅱ(医療会話)

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	照屋 輝一郎 (55) ＜令和4年4月＞ 博士(農学)
		生物学
兼任	講師	黒木 昌一 (62) ＜令和4年4月＞ 物理学博士
		物理学
兼任	講師	Jeremy Boston (51) ＜令和4年9月＞ 博士(応用言語学)
		英語Ⅰ(医療英語) 英語Ⅱ(医療文献読解)
兼任	講師	張 命姫 (51) ＜令和5年4月＞ 修士(言語学)
		韓国語Ⅰ(日常会話)
兼任	講師	黄 冬柏 (62) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		中国語Ⅰ(日常会話) 中国語Ⅱ(医療会話)

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	東 華岳 (62) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		人体構造学
兼任	講師	中村 強 (66) ＜令和4年4月＞ 博士(農学)
		栄養代謝学
兼任	講師	中川 和憲 (56) ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		病理学
兼任	講師	北園 孝成 (63) ＜令和5年4月＞ 医学博士
		健康障害と治療Ⅰ(消化器・神経・内分泌・泌尿器)
兼任	講師	赤司 浩一 (63) ＜令和5年4月＞ 医学博士
		健康障害と治療Ⅱ(循環器・呼吸器・血液・膠原病)
兼任	講師	中村 雅史 (60) ＜令和5年4月＞ 医学博士
		健康障害と治療Ⅲ(外科・麻酔・救命救急)※
兼任	講師	兼岡 秀俊 (73) ＜令和5年4月＞ 医学博士
		健康障害と治療Ⅳ(アレルギー・感覚器・歯・口腔)

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	東 華岳 (62) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		人体構造学
兼任	講師	中村 強 (66) ＜令和4年4月＞ 博士(農学)
		栄養代謝学
兼任	講師	中川 和憲 (56) ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		病理学
兼任	講師	北園 孝成 (62) ＜令和5年4月＞ 医学博士
		健康障害と治療Ⅰ(消化器・神経・内分泌・泌尿器)
兼任	講師	赤司 浩一 (62) ＜令和5年4月＞ 医学博士
		健康障害と治療Ⅱ(循環器・呼吸器・血液・膠原病)
兼任	講師	中村 雅史 (59) ＜令和5年4月＞ 医学博士
		健康障害と治療Ⅲ(外科・麻酔・救命救急)※
兼任	講師	兼岡 秀俊 (72) ＜令和5年4月＞ 医学博士
		健康障害と治療Ⅳ(アレルギー・感覚器・歯・口腔)

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	東 華岳 (63) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		人体構造学
兼任	講師	岩本 昌子 (70) ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		栄養代謝学
兼任	講師	中川 和憲 (57) ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		病理学
兼任	講師	北園 孝成 (63) ＜令和5年4月＞ 医学博士
		健康障害と治療Ⅰ(消化器・神経・内分泌・泌尿器)
兼任	講師	赤司 浩一 (63) ＜令和5年4月＞ 医学博士
		健康障害と治療Ⅱ(循環器・呼吸器・血液・膠原病)
兼任	講師	中村 雅史 (60) ＜令和5年4月＞ 医学博士
		健康障害と治療Ⅲ(外科・麻酔・救命救急)※
兼任	講師	兼岡 秀俊 (73) ＜令和5年4月＞ 医学博士
		健康障害と治療Ⅳ(アレルギー・感覚器・歯・口腔)

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	大賀 正一 (63) ＜令和5年4月＞ 博士(医学)
		健康障害と治療Ⅴ(小児)
兼任	講師	堀 輝 (44) ＜令和5年4月＞ 博士(医学)
		健康障害と治療Ⅵ(精神)
兼任	講師	石神 康生 (52) ＜令和5年4月＞ 博士(医学)
		放射線医学
兼任	講師	小川 みどり (66) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		微生物学
兼任	講師	江藤 宏一郎 (38) ＜令和5年4月＞ 修士(看護学)
		感染症看護
兼任	講師	岩本 昌子 (70) ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		食事療法学
兼任	講師	豊平 由美子 (65) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		薬理学

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	大賀 正一 (62) ＜令和5年4月＞ 博士(医学)
		健康障害と治療Ⅴ(小児)
兼任	講師	堀 輝 (43) ＜令和5年4月＞ 博士(医学)
		健康障害と治療Ⅵ(精神)
兼任	講師	石神 康生 (51) ＜令和5年4月＞ 博士(医学)
		放射線医学
兼任	講師	小川 みどり (66) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		微生物学
兼任	講師	江藤 宏一郎 (37) ＜令和5年4月＞ 修士(看護学)
		感染症看護
兼任	講師	岩本 昌子 (69) ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		食事療法学
兼任	講師	豊平 由美子 (65) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		薬理学

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	大賀 正一 (63) ＜令和5年4月＞ 博士(医学)
		健康障害と治療Ⅴ(小児)
兼任	講師	堀 輝 (44) ＜令和5年4月＞ 博士(医学)
		健康障害と治療Ⅵ(精神)
兼任	講師	石神 康生 (52) ＜令和5年4月＞ 博士(医学)
		放射線医学
兼任	講師	小川 みどり (67) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		微生物学
兼任	講師	江藤 宏一郎 (38) ＜令和5年4月＞ 修士(看護学)
		感染症看護
兼任	講師	岩本 昌子 (70) ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		食事療法学
兼任	講師	小林 英幸 (69) ＜令和4年9月＞ 理学博士
		薬理学

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	中野 正博 (74) ＜令和5年4月＞ 博士(物理学)
		看護統計学
兼任	講師	西崎 緑 (65) ＜令和6年4月＞ 博士(社会福祉学)
		社会福祉学
兼任	講師	西 貴倫 (42) ＜令和4年4月＞ 博士(政治学)
		保健医療福祉制度論 看護関係法規
兼任	講師	木下 みゆき (63) ＜令和4年4月＞ 修士(医科学)
		家族看護論
兼任	講師	荻本 逸郎 (68) ＜令和6年4月＞ 修士(公衆衛生学)
		公衆衛生学
兼任	講師	成清 優子 (61) ＜令和6年4月＞ 修士(医科学)
		がん看護学
兼任	講師	黒木 智鶴 (55) ＜令和6年4月＞ 修士(教育学)
		リスクマネジメント論
兼任	講師	前田 隆代 (66) ＜令和5年4月＞ 博士(保健学)
		災害看護

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	中野 正博 (73) ＜令和5年4月＞ 博士(物理学)
		看護統計学
兼任	講師	西崎 緑 (63) ＜令和6年4月＞ 博士(社会福祉学)
		社会福祉学
兼任	講師	西 貴倫 (42) ＜令和4年4月＞ 博士(政治学)
		保健医療福祉制度論 看護関係法規
兼任	講師	木下 みゆき (63) ＜令和4年4月＞ 修士(医科学)
		家族看護論
兼任	講師	荻本 逸郎 (66) ＜令和6年4月＞ 修士(公衆衛生学)
		公衆衛生学
兼任	講師	成清 優子 (59) ＜令和6年4月＞ 修士(医科学)
		がん看護学
兼任	講師	黒木 智鶴 (53) ＜令和6年4月＞ 修士(教育学)
		リスクマネジメント論
兼任	講師	前田 隆代 (65) ＜令和5年4月＞ 博士(保健学)
		災害看護

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	中野 正博 (74) ＜令和5年4月＞ 博士(物理学)
		看護統計学
兼任	講師	西崎 緑 (64) ＜令和6年4月＞ 博士(社会福祉学)
		社会福祉学
兼任	講師	西 貴倫 (43) ＜令和4年4月＞ 博士(政治学)
		保健医療福祉制度論 看護関係法規
兼任	講師	木下 みゆき (64) ＜令和4年4月＞ 修士(医科学)
		家族看護論
兼任	講師	荻本 逸郎 (67) ＜令和6年4月＞ 修士(公衆衛生学)
		公衆衛生学
兼任	講師	成清 優子 (60) ＜令和6年4月＞ 修士(医科学)
		がん看護学
兼任	講師	黒木 智鶴 (54) ＜令和6年4月＞ 修士(教育学)
		リスクマネジメント論
兼任	講師	前田 隆代 (66) ＜令和5年4月＞ 博士(保健学)
		災害看護

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

【令和4年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

【令和5年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は本字の赤字としてください。
 - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリ)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和4年度】

郡山一明教授（兼任）の担当が難しくなったため、後任未決定であるが、令和5年10月から兼任教員採用予定で公募中。
弓岡光徳准教授（兼任）の担当が難しくなったため、西村泰治教授（兼任）に変更。
弓岡光徳准教授（兼任）の担当が難しくなったため、後任未決定であるが、令和5年4月から兼任教員採用予定。
阿波邦彦講師（兼任）の担当が難しくなったため、大田瑞穂（兼任）に変更。（助教にて令和4年AC教員審査予定）

【令和5年度】

- ・ 野地有子教授辞任により、宮里邦子邦子教授に変更。令和5年3月教員審査済み。
- ・ 野地有子教授辞任により、竹元仁美教授に変更。令和5年3月教員審査済み。
- ・ 野地有子教授辞任により、令和6年4月から専任教員採用予定で公募中。
- ・ 開田ひとみ准教授辞任により、馬場みちえ教授に変更。令和4年12月教員審査済み。
- ・ 川本起久子准教授辞任により、令和6年4月から専任教員採用予定で公募中。

- (注)
- ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
12	6
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
9	6	8	3	26	2	9	4	8	3	24	8
(7)	(4)	(6)	(1)	(18)	(2)						
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
9	6	8	3	26	8	9	6	8	3	26	8
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[6]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[6]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	5	8
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合は、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{26}{26} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{5}{24} = \boxed{20.83} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{8}{2} = \boxed{400} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	准教授	開田ひとみ	R5.3	必修	専門職連携教育Ⅱ（専門職連携の構築）	①	R4.6…一身上の都合により就任辞退（5）						
				必修	専門職連携教育Ⅲ（専門職連携における専攻）	①							
				必修	専門職連携教育Ⅳ（専門職連携における応用）	①							
				必修	在宅看護学概論	①							
				必修	在宅看護学援助論	①							
				必修	在宅看護学演習	①							
				必修	在宅看護学実習	①							
				必修	統合演習	①							
2	准教授	川本 起久子	R5.3	必修	基礎看護過程実習	①	R4.6…一身上の都合により就任辞退（5）						
				必修	成人看護学慢性期援助論	①							
				必修	成人看護学慢性期演習	①							
				必修	成人看護学急性期援助論	①							
				必修	成人看護学急性期演習	①							
				必修	終末期看護論	①							
				必修	成人看護学慢性期実習	①							
				必修	成人看護学終末期実習	①							
				必修	老年看護学援助論	①							
				必修	統合演習	①							
必修	卒業研究	①											
合計（D）					後任補充状況の集計（E）								
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
2	人	必修	20	科目	必修	20	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	20	科目	計	20	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで**に専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字**にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
1	教授	野地 有子	R3.3	必修	健康科学入門	①	R3.3.31付け…一身上の都合により辞任（5）						
				選択	健康科学医療論	①							
				選択	看護管理学	③							
				選択	看護学キャリア発展とフロンティアナレッジ	③							
				必修	国際看護学	③							
合計（F）					後任補充状況の集計（G）								
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
1	人	必修	3	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	3	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	3	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	3	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで**に専任教員が新たに辞任等した場合、赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計(D) + (F)				後任補充状況の集計(E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
3	人	必修	23 科目	必修	20 科目	必修	0 科目	必修	3 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	23 科目	計	20 科目	計	0 科目	計	3 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{3}{26} = 11.53 \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

1 人

(注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
			必修			該当なし			
			選択						
			必修						
			自由						
			必修						
			必修						
合計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
〇〇	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任担当教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等		履 行 状 況	今後の の実施計画
<p>認 可 時 (令和3年)</p>	<p>設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から4年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。</p>	<p>【認可】 遵守事項</p>	<p>設置の趣旨・目的等が生かされ、設置計画が確実に履行されるよう運営組織を組織し、月に1回会議を行い点検改善を行っている。4年制大学にふさわしい教育研究活動が行われるよう、学長は教授会をはじめ各種委員会を通じて教育目標、カリキュラムへの適切な取り組みを図っている。(4)(5)</p>	<p>履行中</p>
<p>認 可 時 (令和〇〇年)</p>	<p>履修モデルを設定し、特色を示すこと自体は問題ないが、履修科目の多くが共通で学ぶ科目となっているため、各履修モデルの違いや特色等が必ずしも明らかではない。学生等に示す際には、各履修モデルの設定趣旨や、その趣旨を踏まえた履修科目の違い等を明確にすることが望ましい。その際には、例えば、救急看護系履修モデルについては中国語科目を対応科目とせず「韓国語Ⅰ」等の科目を対応科目とし、災害看護系履修モデルでは韓国語科目とせず「中国語Ⅰ」等の科目を対応科目とする等、履修モデルの趣旨と対応するか不明確な科目が散見されるため、再度検討の上、必要に応じてより柔軟な科目選択が可能になるように改めることが望ましい。(看護学部看護学科)</p>	<p>【認可】 助言事項</p>	<p>各履修モデルの違いや特色等を明らかにするため、学生等に示す際には、各履修モデルの設置趣旨や、その趣旨を踏まえた履修科目の違い等を明確にするため履修登録の際に説明を行っている。救急看護系履修モデルについては中国語科目を対応科目とし、災害看護系履修モデルでは韓国語科目を対応科目とする等、履修モデルの趣旨と対応するよう検討を行い柔軟な科目選択が可能となるように検討を行っている。</p>	<p>履行中</p>
<p>認 可 時 (令和3年)</p>	<p>完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について着実に実施すること。</p>	<p>【認可】 遵守事項</p>	<p>高度専門職業人を養成することを養成する人材像としており、高い教育水準を有する教員を配置したため初年度は4名、完成年度は9名の教員が定年規程の退職年齢を超えることとなる。これらの教員は定年の特例に関する規程の適用を受け、高い教育研究の水準を維持しつつ教員年齢構成に配慮し、中長期的に視野に立った人事計画のもと教員組織を整備することとしている。</p>	<p>履行中</p>

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、

具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。

【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<看護学部 看護学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>① 入学者選抜方法 一般選抜（前期・後期） 選抜方法とし、学力試験および面接試験により判定を行う。</p>	<p>① 入学者選抜方法 一般選抜（前期・後期Ⅰ期・Ⅱ期） 選抜方法とし、学力試験により判定を行う。</p> <p>令和4年度大学入学者選抜に係る新型コロナウイルス感染症に対応した試験実施のガイドラインに従い、受験機会の確保に努めるべく、後期Ⅱ期試験を設定し追試験に対応出来るようにした。 また、新型コロナウイルス感染症罹患患者増加に伴い、当初予定していた面接試験を取りやめ、感染拡大のリスク低減とし、調査書および学力試験により判定を行った。</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 各学科の教授、准教授および講師のうちから学部長の推薦に基づき学長が指名した者で構成された、令和健康科学大学FD・SD委員会を設置し、取り組むこととしている。実際の教育運営を司る教務委員会と連携し、高度専門職業人を養成するよう、設置の趣旨・目的を踏まえ教育水準の向上に取り組む予定である。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 令和4年度は令和5年2月に実施した。（委員／教員8名、事務2名） 令和5年度は2～3か月に一度の実施を予定している。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FD活動の啓発に関すること。 ・ 授業方法についての研究会 ・ 授業公開の企画・運営に関すること。 ・ 新任教員のための研修会 ・ 学生及び職員相互による授業評価に関すること。 ・ 各学部・各学科が行うFD活動の支援に関すること。 ・ FD活動に係る施設・設備等の改善に関すること。 ・ FD活動に係る講演会及び研究等に関すること。 ・ その他FD活動の推進に必要な事項に関すること。 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>①全学FD研修（全教員の参加を基本とする）開催</p> <p>②本学臨床シミュレーションセンターおよび学科独自での研修会 看護学部における教育の特長の1つである「臨床実践中心型カリキュラム」および「シミュレーション教育」について理解を深め、導入・構築を支援するため実施</p> <p>③その他、オリエンテーション等各種研修の実施</p>

b 実施方法

①全学FD研修会（4月・8月）

②学科主催FD研修会（全10回実施・各月1回）

①、②とも対面もしくはオンライン（Zoom）による研修

③新入教員オリエンテーション（4月）、全教職員対象全体ミーティング（毎週水曜日）実施

c 開催状況（教員の参加状況含む）

①・4月開催：研究倫理理解のための研修APRIN eラーニングプログラム（eAPRIN） 全学教員20名受講

・8月25日開催：「科研費」応募支援企画 レクチャーと申請手続き説明会（8/25） 教員56名参加

②・5月18日開催：臨床実践中心型カリキュラム：IDとADDIEモデル_分析 /18名参加

・5月25日開催：臨床実践中心型カリキュラム：IDとADDIEモデル_設計 /18名参加

・6月1日開催：臨床実践中心型カリキュラム：教授カリキュラムマップ作成（演習） /18名参加

・6月8日開催：臨床実践中心型カリキュラム：ADDIE_開発（メリルのID第一原理、GBS理論） /15名参加

・6月15日開催：臨床実践中心型カリキュラム：心不全の看護を用いた例示、実施、評価 /15名参加

・6月22日開催：臨床実践中心型カリキュラムの実際：生活援助技術『コミュニケーション技術』 /19名参加

・7月6日開催：臨床実践中心型カリキュラム_授業設計の実際（演習） /19名参加

・11月14日開催：シミュレーション教育と臨床実践中心型カリキュラムについて /19名参加

・11月14日開催：シミュレーション教育の方法について /19名参加

・12月1日開催：シミュレーション教育への導入の工夫（演習） /20名参加

・2月13日開催：今どきの高校生を知ることから始まる大学の初年次教育 全学科30名程度参加（作業療法学科主催）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

FD/SD研修を通じて共有し、良質な教育における実践的手法をを授業改善や学生支援に活用する。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

すべての講義において各講義の最終講義日（前期：8月、後期：1月）にWEBによる授業評価アンケートの実施を予定している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

FD・SD委員会はアンケート結果を学長に報告を行い、学長はアンケート結果のフィードバックを授業担当教員に行い授業改善に役立ててもらふ。学生にはアンケート結果を取り纏めポータルサイトに掲載を行い、履修登録の参考資料としてもらう。

（注）・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

該当なし

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

該当なし

c 委員会の審議事項等

該当なし

d その他

該当なし

② 審議状況

該当なし

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

学校法人巨樹の会は「全ての人に対して、24時間・365日、患者のための医療を行う」という創設者の信念に鑑み、「手には技術、頭には知識、患者には愛を」を建学の精神としている。「手には技術」とは「技の修得」を意味し、高度医療の提供と先進医療の導入を図りつつ、安全性・安楽性・信頼性に長け、卓越した技術・技能を修得し、プロフェッショナルとして誇りと責任をもった人を養成するための考えである。「頭には知識」とは「知の探究」を意味する。医療の進歩発展の土台となる探究的思考を身につけ、地域医療の質向上と共に各専門領域の深化を進めるための基礎となる探究心である。「患者には愛を」とは「心の涵養」を意味する。豊かな人間性を有し、経験を深める洞察力と内省力を磨き、職業倫理をもって全ての患者に寄り添い、優しく接することができる「全人的医療」を提供できる人を養成することを目的に設置した。

この目的を達成すべく開学後4月より医療従事者としての素養を身に着けた医療人を養成すべく、基幹分野科目である「コミュニケーション論」「医療と情報リテラシー」「論理的思考法」では対象者を全人的に深く理解し、素直に受け入れ、相互に良好な関係を築くことができる能力を学修している。専門基礎分野科目である「人体構造学」では今後の医療人としての根幹である人体に対する理解が深まるように基礎知識を学修している。専門分野科目である「看護学概論」「生活援助技術」では看護学全体の基本的な知識を学修し、科学的根拠に基づいた看護実践を支える知識体系、健康の保持・増進・QOLを支えるケアについて知識の修得を行っている。

設置の趣旨・目的を達成するため、幅広い教養、職業倫理、保健医療に関する基礎知識の修得が進んでいるものと考えている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

記入例)

・令和9年6月1日 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（令和9年6月1日を予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・ 令和10年に評価機関（公益財団法人日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [(有) ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 (公表後2～3ヶ月以内) ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [(ウェブサイトへの掲載) ・ その他 ()]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。